

# 健康長寿社会をめざした予防政策の基盤づくりに関する研究のお知らせ

帝京大学大学院公衆衛生学研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年2月26日～2026年3月31日

## 〔研究課題〕

健康長寿社会をめざした予防政策の科学的な基盤づくりに関する大規模疫学研究

## 〔研究目的〕

申請者が参画する日本老年学的評価研究(JAGES:Japan Gerontological Evaluation Study)で取得済みのデータをもとに、JAGESの目的(1)「健康の社会的決定要因」の重要性を示す、2)「健康格差」の実態を明らかにする、3)介護予防戦略見直しの方向性を見出す)に資する複数の研究に取り組みます。

## 〔研究意義〕

高齢者の健康の社会的決定要因を明らかにし、介護予防や健康格差の縮小に役立つ知見を明らかにします。

## 〔対象・研究方法〕

原則として要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者を対象にした自記式の郵送調査および要介護認定等のデータで、すでにJAGESで取得済みのデータを活用します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学大学院公衆衛生学研究科 講師 金森 悟

## 〔個人情報の取り扱い〕

データは個人を特定できない状態でJAGESから研究者に提供されます。データはCD-Rに保管し、解析は帝京大学大学院公衆衛生学研究科研究室で行う。その際、インターネット回線に接続していないパソコンを利用します。研究実施中のCD-Rの保管は、公衆衛生学研究科内の鍵のかかるキャビネット内とします。研究期間終了後はJAGESの指針に従い、CD-Rを物理的に破砕することで破棄します(JAGESとしてデータは保管)。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問い合わせ先

研究責任者：金森 悟

所属：帝京大学大学院公衆衛生学研究科

住所：東京都板橋区加賀2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔内線 46215〕